

ステートメント

2019年3月20日

伊奈 啓一郎

機関投資家の株主による株主総会招集請求への賛同について

弁護士の調査等により以下のことが明らかになりました。『2018年10月、潮田洋一郎取締役は、突然、株式会社LIXILグループ(以下「会社」といいます。)のCEOである瀬戸欣哉取締役、および指名委員会委員の社外取締役に「誤解を与える言動」を行って、瀬戸欣哉取締役をCEOから退任させ、10月31日の取締役会で自ら代表執行役会長兼CEOに就任する決議を行わせた。』ということです。これ以前に取締役会で、瀬戸欣哉取締役をCEOから退任させて、潮田洋一郎取締役をCEOにするという議論がなされたことはありませんでした。

私は、このガバナンスを無視した手法に驚き、会社の取締役としてこの決議に反対しましたが、これを止めることができず、同時に無力さをも感じていました。私は、その後も会社のガバナンスを是正したいという思いから、取締役会で多くの指摘をしてきましたが、残念ながら十分な結果を残すことができていません。

今回、『今後の会社のガバナンスをより正しい方向に向かわせたい。』という機関投資家の方々の考えを伺い、私はこれに賛同することとしました。但し、皆様には、私のこの行動を旧システムと旧INAXの対立ととらないでいただきたいと思います。会社のガバナンスの是正に旧システムも旧INAXもありません。旧システムと旧INAXでは企業文化が大きく異なっていたのは事実ですが、2001年の経営統合以降は互いの優れた点を学びあう関係作りに務めてきました。瀬戸前CEOは、「ONE LIXIL」を提唱し、国籍、人種、性別など、そして出身母体の企業の違いを乗り越えて、共に高めあい成長していくことを目指してきました。私もその想いは同じです。

会社の株主の一人として、会社のガバナンスをより正しい方向に向かわせるために、今回の臨時株主総会の招集について共同提案者の一人となったことをご報告いたします。

報道関係者お問い合わせ先

伊奈啓一郎代理人弁護士

吉野総合法律事務所

弁護士 吉野正己 my@yoshinolaw.com / 03-6661-0778